

2018/2022年ワールドカップ日本招致に向け、相模原市は「チームベースキャンプ」に立候補を申請する

(財)2018/2022年 FIFA ワールドカップ日本招致委員会は、サッカーを通じて日本のスポーツ文化を活性化させ、子どもたちに夢を与えるための大きな機会として、2018年又は2022年にワールドカップを招致することに取り組んでいる。

これを受け政府は、平成21年12月8日2018/2022年 FIFA ワールドカップ日本招致について閣議了解している。

本市に対しては、これまで(社)神奈川県サッカー協会から相模原麻溝公園競技場でのチームベースキャンプ(出場チームの練習などの拠点)としての立候補について検討を依頼されていた。

本市としては「スポーツ振興によるまちづくり」を推進するため、チームベースキャンプとしての候補となるよう(財)2018/2022年 FIFA ワールドカップ日本招致委員会に対して申請をする。

なお、神奈川県内では、横浜市は開催地自治体、川崎市はチームベースキャンプとして立候補を表明している。

1 チームベースキャンプ

(1) トレーニングサイト

相模原麻溝公園競技場

(2) 宿泊施設

市内ホテル

2 今後の予定

平成22年1月 8日(金)	立候補申請
平成22年1月14日(木)	申請書提出状況の公開
平成22年4月	招致登録金(10万円)納入

※ (財)2018/2022年 FIFA ワールドカップ日本招致委員会は、招致登録金について、PR 活動を含めた様々な招致活動の財源の一部として、立候補した自治体/団体を日本及び世界に対し積極的にアピールすることとしている。

平成22年12月2日(木) 開催国決定(FIFA 理事会にて)